

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 くるみ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 24日		2025年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 10月 3日		2025年 10月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・地域との情報共有	家庭での様子や集団での課題、また子どもの姿を丁寧に確認し、地域の関係機関とも連携し、具体的な支援について共有している。	・日々の保育での様子をこまめに伝えたり、連絡ノートからの情報を大切にしたい。また面談・交流会・学習会、発達相談を通じて、保護者と様々な思いを共有できるよう努めていく。
2	園児のペースに合わせながら、ゆったり対応し、子ども達が安心できる環境作り	基本的な生活習慣(食事・睡眠・排泄・遊び)を大切にしながら、楽しい経験を積み重ねていく。安心して生活し、信頼できる大人の中で遊びの幅を広げ、毎日楽しく過ごしていく。	・毎日通う初めての集団なので、子ども達にも保護者の方にも楽しく安心して通ってもらえるよう、丁寧に関わっていきたい。
3	職員の連携を大切に、同じ目標で関わっていけるよう、チームワークを大切にしている	日々の保育の振り返りや職員会議・総括会議で、様々な角度から子どもを捉え、保育目標を設定している。また反省点や課題を次につなげられるよう、職員間で意思統一を心掛けている。	・日々の反省会の中で個別対応も大切にしながら、集団保育での課題へとつなげ、職員間で共有していく。 ・職員個々の思いを出し合いながら、さらにより良い保育に発展させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援事業 くるみ教室				公表日 2026年2月4日	
		利用児童数		38名		回収数 25	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	1	0	0	・人数に対して園庭もホールも十分に広く、満足しています。 ・人数も増えているので、もう少し広いといいかなと思います。	・遊具の位置など安全面を考慮して検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	0	・先生がたくさんいるので、安心して預けられています。	・子ども達に目が行き届くよう、丁寧な対応を心掛けています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0	・とてもきれいです。	・危険箇所や死角になりやすい場所を確認、点検しながら、清潔を保つよう努めます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3	0	0		・子どもの特性を理解し、間を持った対応を心掛けています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	0	6	・ちゃんと理解できていないので分かりません。 ・見たことがないので確認します。	・入園時などに支援プログラムの案内をするように検討していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	2	・ちゃんと理解できていないので分かりません。	・入園後、保護者の思いを反映し計画書を作成していますが、今後さらに丁寧な説明を心掛けています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	3	・ちゃんと理解できていないので分かりません。	・入園後、保護者の思いを反映し計画書を作成していますが、今後さらに丁寧な説明を心掛けています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1	0	1	・入園したばかりで分かりません。	・今後も固定化しないよう、毎回楽しめる内容を提供していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	0	12	1	・入園したばかりで分かりません。	・土曜の並行通園児のグループでは、地域の集団に通う子どもたちが通所してくれているため、情報交換の場になっていると感じます。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	0		・入園時に説明しています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1	1	1		・今後さらに丁寧な説明をしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	0	1	3	・交流会はとても助かっています。 ・入ったばかりで分かりません。	・交流会や学習会の場は設けていますが、メール等でもお知らせしていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	3	2	2	・めちゃくちゃ共有できています。 ・入ったばかりで分かりません。	・子ども達の嬉しい報告やまた弱い部分も伝えられ共有していき、進路を決める際にも共通理解で話し合っていけるよう努力していきたいです。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	1	3	・入園したばかりなので分かりません。	・連絡ノート等から保護者の悩みを聞くと、面談の機会を作っています。 ・土曜日保育のご家庭については、より丁寧な対応をしていきたいと思っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	1	・入園したばかりなので分かりません。	・土曜日保育のご家庭については、より丁寧な対応をしていきたいと思っています。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	3	1	2	・入園したばかりなので分からないです。	・土曜日保育のご家庭については、より丁寧な対応をしていきたいと思ひます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	1	2	・すぐに対応してもらっています。	・より丁寧に迅速に対応していくよう努力します。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	21	0	2	2		・子どもの様子を把握し保護者と話したり、共通理解できるよう努力していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	1	2		・入園した際に支援プログラムや自己評価などホームページに載っていること等の案内をしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	25	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	23	1	0	1	・入園したばかりなので、分からないです。	・土曜日の並行通園児の方にも丁寧に説明していきたいと思ひます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	20	1	0	4	・入園したばかりなので、分からないです。 ・まだ経験がなく、分かりません。	・ケガなど起こらないよう、今後も気をつけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	0	0	1	・最近なれてきました。	・子ども達、保護者の方が楽しく通える教室を目指しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	・とても満足しています。 ・ありがたいです。	・さらに楽しんでもらえるよう、子どもに合った保育内容を考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業 くるみ教室		公表日 2026年2月4日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	活動内容により、部屋や空間を使い分け、園児に分かりやすいよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	配置基準以上の体制を心掛け、丁寧に対応したいと思っています。	目が行き届かないことがないよう、さらに努力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	・何をするか見通しの持ちやすい環境になるよう工夫しています。 ・修理が必要などはなるべく早く修繕するよう心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0		清潔な環境の為には一人一人の心掛けが大切なので、これからも意識したいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	0	毎日反省会をして一日を振り返っている。また休みの職員にも伝達し、次の日に生かせるようにしています。	今後も定期的な職員会議や総括会議で全員で振り返り、目標を確認し合いたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	職員会議で意見を出し合い、共有しています。子どもを軸に、より良い方向に改善案を出し、実行しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	10		法人内での評価を行うなど、現在検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	研修は定期的にあります。(法人研修・事業所内研修) またやってみたい希望研修も取り入れるようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	こどもの姿や保護者の願いをもとに、アセスメントシートを作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	こどもの姿や理解は常に全職員で共有できるよう努力し、最善の姿をイメージしながら検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員会議や反省会で案を出し合っ、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	毎日リーダーが変わり、その人のカラーが出て、保育内容を工夫し考えています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	個別対応が必要な時は丁寧に関わります。保育では集団の中での子の姿を確認しながら計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	毎日の朝礼で一日の打ち合わせをします。内容や役割、園児の状況確認などをして、その都度対応できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	毎日、一日の反省と振り返りをし、改善点を出し、次の保育がより良いようにつなげるよう努力しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	保育日誌に反省や子どもの姿を記入し、共有できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	発達相談は管理者や保健師さん、保育士が同席し、連携できるよう努力しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	保健師さんとは細やかに連携をとるよう努力しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	就園希望児の保育所の体験入園や見学には同席させてもらい、支援させてもらっています。また情報共有や理解を深めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				就学への該当児は現在なし
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	12		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	連絡ノートや登降園時、送迎時などに直接保護者と会って話したり、電話など連絡を取り合っています。親子保育日にも日頃の様子を伝えたり、必要に応じて個人面談も行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	学習会や交流会の機会を設けています。また週一回親子保育日もあります。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	入園説明会で伝えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	説明してサインをいただいています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	日々の連絡ノートのやりとりから悩みや相談があればノートに記載したり、迅速に対応できるように時間を設けたりしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	0	定期的に保護者交流会を開催しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	相談があるときに、またこちらから必要と感じた時には迅速に話ができる体制を取っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	おたよりを月一回発行したり、毎週の親子保育の案内を示したり、必要に応じてメールでの発信もしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	行事等案内したり、散歩先で交流があったりと、大事にさせていただいています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	定期的に（月一回）様々な訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	毎年見直しし、訓練も毎月しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	入園前に確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	今年度対象児はありませんが、アレルギー等は対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	衛生・救急などの研修を行っています。	幅広く今後も十分安全管理ができるよう努力します。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハットは全職員で共有しています。改善が必要な場合は事柄については、早急に修繕等や保育の見直しをしています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	法人内で虐待防止チェックシートを活用しています。また研修もしています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0			